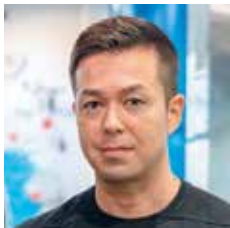


みやぎの多文化な人 宮城県内で活躍している海外出身者をご紹介します。

## 失敗は怖くない ～人とのつながりから 得たもの～



### デービット ホルトン さん

(株)ボディプラスインターナショナル  
代表取締役  
B.LEAGUE (Bリーグ) 仙台89ERSオーナー  
カナダ カルガリー出身



仙台89ERSの選手・スタッフと / 前列中央がホルトンさん  
2019-2020 Season ©SENDAI 89ERS

#### —出身や子どものころのことを教えてください。

カナダのアルバータ州エドモントン生まれで、2歳のときに両親と姉とカルガリーへ引っ越しました。5歳の時に父が亡くなりました。奈良県出身で日系企業に勤めていた母は、とても忙しくほとんど家にいなくて、日本語を話す環境ではなかったですね。7歳の頃、姉のおさがり自転車嫌で、母にBMXの自転車をねだったところ「買えない」と言われ、ショックでした。「貧乏は嫌だ。お金持ちになってやる」と決心し、まずは新聞配達を始めました。毎朝カートに新聞と飼い猫をのせて回るうちに近所の人たちと親しくなり、芝刈り、落ち葉集め、お年寄り宅の手伝いなど、それぞれのお宅のニーズを見つけて提案し、お金を得る喜びや苦労を経験しました。大人になって自転車の件を母に話したら、覚えていない上、お金が無くて買ってもらえなかった訳ではないことがわかり、今では笑い話です。

#### —日本、そして仙台に来ることになったのはどうですか。

思春期の頃から不良少年になり、若者同士で争いを繰り返す日々を送っていました。それまで何も言わなかった母に「今のあなたはこの状況に満足しているのか、将来はハッピーになると思えるのか」と問われ、現実を正面から受け止めました。そんなとき、仙台の英会話学校に勤務していた姉から来日の誘いがあり、1、2か月ほど環境を変えてみようとして仙台へ来ました。19歳の秋でした。

#### —それから25年ほど経っていますね。

来日後に乗った夜行バスで日本人に親切に接してもらったことに始まり、人々の優しさに感動したこと、さらに安全で安心できる環境に居心地の良さを感じて、来日2週間後には職探しを始め、姉の紹介で私も英会話講師になりました。姉の帰国後も私は残り、気がつけば英会話学校やバーテンダーなど仕事を3つくらい掛け持ちして、幼い頃のように働くことを楽しんでいました。仕事の合間には、カナダ時代から続けてきた身体づくりのためジム通いをして、同時にプロテインやサプリをあれこれと米国から取り寄せては試していました。ひと月に5万円ほど費やしていたので、当時婚約者だった妻は呆れていましたね。好きなことを探求して得た生理学や商品の知識のおかげでジム仲間から取り寄せを依頼されるようになり、それがビジネスにつながって、今もここにいます。個人事業主になったものの税務関係

の理解が不足し、税務調査が入りました。調査官は私の無知を責めることなく、今後のためにと税理士へつないでくれました。紹介された税理士さんとは、株式会社になった今も続いていて、助けてもらっています。経営では大変な時もありましたが、人々とのつながりを通して助けてもらい、本当にたくさんのお金を教えてもらいました。

#### —2018年にはBリーグのプロバスケットボールチーム仙台89ERSのオーナーに就任されましたが、いかがですか。

オファーをいただいて、迷うことなく即決しましたが、こんなに大変だとは思っていませんでした。でも、とてもやりがいがあります。私の本業は顧客層が限られていますが、ブースター(Bリーグのファン)は年齢層が広く、スポンサーは色々な分野から集まっています。彼らの仙台89ERSへの大きな愛とエネルギー、それに仙台を盛り上げようとする意気込みが感じられ、私も関わることが誇らしいです。そして、選手やスタッフはもはや家族です。チームの中で、私が外国人であることはメリットだと感じます。日本人選手はその場の雰囲気や乱したくないので、試合に負けると、黙ってしまうか、冗談でなごませようとする。反対に外国人選手は、悔しさを全面に出します。彼らは早い段階からプロを目指し、キャリアアップに励んできたため、日本人選手の曖昧な反応にフラストレーションを感じるのです。双方の気持ちがわかる私は、日本人選手が本当は口にしたい言葉を代弁したり、彼らには外国人選手が持つプロ意識を話します。また外国人選手には日本人の文化的背景や表現の仕方、さらに彼らが試合以外の場で求められることを伝えています。

#### —外国人の起業家として、どんな思いがありますか。

日本は長い歴史がそうしたのか、失敗を恐れる社会だと思えます。一方、私が生まれ育ったカナダは歴史が浅く、多文化主義の国なので主張しないと生き残れない社会です。私は自分の考えを相手にまっすぐ伝えることができます。子どものころからたくさん経験しているので、失敗しても恥ずかしいとは思いません。失敗は成長できる機会だと考えています。人々の出会いを通して前進してこれたので、人々とのつながりを広げて、お互いを高めていくことに力を注いでいくつもりです。

## 在留外国人ネットワークとSNS活用について

日本国内で年々増加している在留外国人のみなさんは、このコロナ禍のなか日本で暮らす同胞とどのように情報交換をしているのでしょうか。フィリピン、中国、ベトナムと台湾の方々に聞いてみました。

## 在留外国人数とSNSツール

(在留外国人数:2020年6月の在留外国人統計より)

	日本在住	宮城県在住	主に利用しているSNS
フィリピン	282,023	1,493	Facebook
中国	786,830	5,773	WeChat
ベトナム	427,367	4,605	Facebook
台湾	59,934	398	LINE

## フィリピン: 佐竹グレンダさん (DAMAYAN, Filipino Community)

宮城県内にフィリピン出身者のコミュニティはいくつかあります。仙台圏にはダマヤン(600人超)やフィリピンコミュニティ宮城(300人ほど)などがあり、両方に参加しているメンバーもいます。Facebook、LINEやインスタグラム等で個人間のやりとりをしていますが、団体としての情報の共有はほぼFacebookです。行政やMIAから発信された新型コロナウイルス感染症の受診相談窓口案内などの情報は、参加しているFacebookの管理者へ個別に連絡し、許可をもらってから載せています。そして、掲載した情報について質問があるときは、掲載者へ直接連絡してくださいと添えています。Facebookは多くのメンバーが見るので、ビジネスや他のコミュニティの紹介はしないこと、助け合いのために利用することなどのルールがあります。

## 中国: 徐 巍毓さん (宮城華僑華人女性聯誼會)

日本に暮らす中国人の間ではWeChat(微信)の利用が圧倒的で、LINEやFacebookはほとんど使われていません。宮城華僑華人女性聯誼會のWeChatグループメンバーが90名程度いますが、同会のメンバー(会費納入者)しか入れません。災害時の情報以外の書き込みはそれほど多くありません。ほかに仙台在住の中国人グループがあって、会員が500名程度います。最近だと、2月13日深夜の地震で水道管が破裂して困っている中国人から投稿があり、複数の方から、それに関する情報提供がありました。

いまから1年ほど前にマスク入手が困難だったとき、中国地方政府から提供されたマスクや漢方薬が同郷グループのWeChatを通じて情報拡散され、1回目は送料も無料で受けることができました。

## ベトナム: ド バン トウアンさん (在仙台ベトナム人協会/SenTVA: TVA - Người Việt ở Sendai)

在仙台ベトナム人協会では、ベトナム人の日本語学習、交流、相談や助け合い、それと日本人のベトナム語学習などの活動をしており、Facebookを使って情報共有をしています。Facebookの登録者は3,800人ほどいて、仙台や東北だけでなく、日本国内に住んでいるベトナム人のほか、これから来日を予定している人もメンバーになっています。新型コロナウイルス感染症の情報は、MIA、SenTVA、ベトナム大使館からのものや、私が新聞で見た記事などを載せています。私だけでなくメンバーも質問やコメントへの返事をして情報を共有しています。また広告や悪いことに利用されないため、情報を載せるときは私の許可が必要です。

## 台湾: 連 于晴さん (宮城県台湾婦女会)

全世代にわたってLINEが利用されています。30代ぐらいまではFacebookも多いですが、20代以下はインスタグラムが多く使われているようです。東北大学の留学生グループは情報量が多く、そこから伝わってくる情報もあります。宮城県台湾婦女会幹部のLINEグループには、台北経済文化代表処(台湾の在外公館)から情報が回ってきます。特にトラブルや困りごとの相談はないので、個人間で解決できているのかもしれませんが。昨年2、3月マスク供給が逼迫していたとき、台北経済文化代表処からの情報で台湾からマスクを持ち出すための制限やルールについて詳しい説明がありました。総じて、台湾政府からの情報が手厚く、しっかりしています。

## 遠隔通訳のメリット・デメリット

## ～MIA外国人支援通訳サポータースキルアップ研修会～



新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、令和2年度はMIA外国人支援通訳サポーターの現地派遣を基本的に行わず、電話やオンライン会議システムZoomを使った遠隔通訳を行ってきました。その経験を共有すべく、1月27日にMIA外国人支援通訳サポータースキルアップ研修会をオンラインで開催し、30名を超える参加がありました。

4名の方に遠隔通訳の体験談を話していただきました。電話やZoomによる通訳の場合、外国人患者の表情、ボディランゲージを充分に感じとることができない、または手元の絵や資料を共有したり指で指し示したりすることができないといったその場にいらないことの難しさがあり、より高い通訳スキルが求められるとす一方で、緊急対応がしやすい、移動時間が不要となる、適切な距離感を取りやすいなどメリットもあるとの指摘がありました。

昨今、在留外国人が増加し、また多様化してきた中で、県全域を対象に様々な言語でタイムリーに通訳対応をしていくとなると、対面通訳だけでは限界があります。感染症拡大を機に始まった遠隔通訳対応ではありましたが、感染症の進展如何に関わらず、今後ますます運用が進んでいくことも予想され、そのための準備やスキルアップの必要性を感じました。



4名の発表者

## MIA日本語講座 2021年第1期が4月から始まります!



MIA日本語講座を開講します。身近に日本語を勉強したい外国人がいらしたら、ぜひご紹介ください。

多言語(日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語)のチラシも用意しています。

クラス	曜日	時間	期間	テキスト	受講料	定員*
初級1 初級2	火～金	10:00～12:00	4月6日(火)～7月16日(金)	『日本語初級1大地』 『日本語初級2大地』	¥22,000 ※テキスト代別	初級1・2 各8人
中級	火・木	13:00～15:00	4月6日(火)～7月15日(木)	『中級へ行く』 『日本語の文型と表現55』	¥11,200 ※テキスト代別	8人
夜間初級1 夜間初級2	火	18:30～20:30	4月6日(火)～8月31日(火)	『日本語初級1大地』 『日本語初級2大地』	¥12,000 ※テキスト代別	初級1・2 各8人

●場所 宮城県国際化協会(MIA)

●申し込み 事前の申し込みが必要です。電話かEメールでご連絡ください。先着順で受け付けます。

\*感染症拡大防止のため、通常より定員を減らしています。



## 多文化なトピック

## 新型コロナウイルス相談窓口

## 多言語対応しています

2021年3月1日から宮城県・仙台市の電話相談の番号が新しくなりました。

電話番号

022-398-9211

対応言語	受付時間
英語・中国語・韓国語・スペイン語 ポルトガル語・日本語	毎日24時間
タイ語・ネパール語・ベトナム語 ロシア語・タガログ語 インドネシア語・ヒンディー語	月曜日～金曜日 8:30～18:00

3者通話で対応します。通話につながるまで時間がかかる場合があります。

新型コロナウイルス感染症  
受診・相談センター  
Novel Coronavirus  
Medical Consultation Center  
=Multilingual support is available=

体調が悪くて、新型コロナウイルスの感染が心配な人は、宮城県・仙台市の受診・相談センター(コールセンター)に相談してください。13の言葉で相談できます。

If you are not feeling well and are concerned about infection with the novel coronavirus, you can consult the Novel Coronavirus Medical Consultation Center (call center) established by Miyagi Prefecture and Sendai City. Consultation is available in 13 languages.

022-398-9211

◆英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・日本語: 毎日24時間  
◆タイ語・ネパール語・ベトナム語・ロシア語・タガログ語・インドネシア語・ヒンディー語: 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時  
◆English, Chinese, Korean, Spanish, Portuguese, Japanese: 24 hours a day (every day)  
◆Thai, Nepali, Vietnamese, Russian, Tagalog, Indonesian, Hindi: Monday-Friday, 8:30 AM-6 PM

2021年3月1日から  
電話番号が変わりました

※3者通話で通話につながります。通話がつながるまで、少しお待ちください。  
The staff will make a three-way call to the interpreter. Please note you will have to wait for a while for the interpreter to answer the phone.

作成: 宮城県国際化協会(MIA) 2021.3.1

## ライブラリー

ライブラリーのコーナーで紹介されている図書は全て貸し出しまたは当協会図書資料室で閲覧可能です。

## 「やさしい日本語」で伝わる! 公務員のための外国人対応

発行: 学陽書房 著者: 岩田一成・柳田直美

在住外国人の90%以上の人たちが自治体で手続きを経験するそうです。日本語ができてできなくても不安を抱えて窓口に行きます。「やさしい日本語」は、これからの多文化共生社会に向けたマナーです。また窓口対応で「やさしい日本語」を使うことで外国人への苦手意識を減らすことができるだけでなくコスト軽減をもたらす、高齢者や障がい者への対応にもつながると著者は記しています。本書では、対応の心構えや「やさしい日本語」の基本、言葉をいろいろな方法で伝える技術、ピンポイントテクニック、便利なツールなどが非常に読みやすく紹介されています。クスッと笑えるユニークなイラストも読者の理解を助けてくれます。

窓口対応だけでなく、身近に外国人がいる方々にも参考になりますので、ぜひ手に取っていただきたい一冊です。



# MIAのホームページが新しくなりました!

MIAのHPが2月にリニューアルされました。これまでの4言語(日本語、英語、中国語、韓国語)に加えて、新たにベトナム語とネパール語、そしてやさしい日本語のページができました。

スマートフォンからのアクセスにも対応しています。

また、新型コロナウイルス感染症に関する多言語情報を集めたページもありますので、ご活用ください。



スマホ版・ネパール語のサイトです

## 多文化なトピック

### 「多文化共生対談inいしのまき」が開催されました

2月7日(日)に石巻市ささえあいセンターにおいて、「多文化共生対談inいしのまき」が開催されました。

当初、一般公開型の「多文化共生シンポジウム」として実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、関係者のみが集まって対談を行い、その記録を作成・公開することになったものです。

対談参加者は、石巻の多文化共生推進のため各種活動を行っている市民団体の事務局長、外国人技能実習生の監理団体役員、ベトナム人技能実習生、施設で働くフィリピン出身の介護スタッフの4名で、MIA職員がコーディネート役を務めました。

東日本大震災から10年ということ、震災直後のことから、震災をきっかけとした社会の変化とそれに対応する新たな取り組み、そして今後の展望などについて、予定の時間を大幅に超えて活発な議論が交わされました。

地域の多文化化の最前線で活動しているの方々によるこの対談の記録は、石巻地域における、この10年の多文化共生推進の一側面を記した貴重な資料と言えるでしょう。対談内容を踏まえて、社会における「自助・共助・公助」のあり方について考察した、東北大学特任教授のJ.F.モリス先生による寄稿文と併せて、ぜひご一読ください。

◎対談の記録はMIAホームページからダウンロードできます。

<https://mia-miyagi.jp/frommia/shinsai10yrs>

#### 「多文化共生対談inいしのまき」

参加者：国際サークル友好21 事務局長 清水 孝夫氏  
 みやぎオーバースー協同組合 専務理事 國分 貴之氏  
 ひまわりデイサービスセンター 介護士 高橋 リヤネット氏  
 三洋食品株式会社 技能実習生 グエン テイルエン氏  
 コーディネーター：MIA総括マネージャー 大泉 貴広  
 講師：東北大学災害科学国際研究所特任教授 J.F. モリス氏



## 賛助会員募集

MIA(公財)宮城県国際化協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人との輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。



- 賛助会員の資格  
本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など
- 賛助会員の区分と年会費  
個人会員/1口 3,000円  
団体会員/1口 10,000円
- 賛助会員の特典  
◎協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の定期送付(年6回)
- ◎当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加費の減免
- ◎個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引
- ◎宮交観光サービス(株)
- ◎企業会員については世界各国国旗の無償貸し出し、及び当協会の外国人スタッフ等による国際理解出前講座の無償提供
- 入会方法  
◎本協会あて御連絡ください。  
◎本協会の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



## 倶楽部MIA vol.114

編集・発行  
 公益財団法人 宮城県国際化協会  
 〒981-0914  
 仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号  
 宮城県仙台合同庁舎7階  
 TEL 022(275)3796  
 FAX 022(272)5063

E-mail [mail@mia-miyagi.jp](mailto:mail@mia-miyagi.jp) URL <http://mia-miyagi.jp>

